

外国人

イベントについて

- チラシや資料について。その人のレベルによって違うが、漢字が多いものより、絵とか写真のようなイメージを掴めるものがあつたほうがわかりやすい。
- 興味があるイベントがあつても、自信をもってその場所に行けるか不安。最寄り駅が近いなど、行き方がわかりやすい場所だと良い。
- 自分ひとりだけでなく、誰か付き添いがいたら参加しやすい。(日本語のわかる知り合いなど)
- ウェルカムな感じが欲しい。(元気なあいさつ、やさしい日本語で)
- 情報収集の際、SNS (Facebook、Instagram) の他に地域の掲示板や自治会回覧も結構見る。
- こどもをイベントに参加させるとき、主催者側からも同じ参加者側からも距離感を感じることもある…。



日常のコト

- 英語話者の方は実はそんなに多くない。その人の国籍によって英語の習得レベルは違う。でも日本に来ている外国人の方は、日本語をある程度勉強している。英語よりもやさしい日本語の方がわかりやすい場合も。
- 外国人の方は四字熟語やことわざ、オノマトペ(※)がわからないことが多い。(※擬音語。「ドン!」や「モグモグ」、「ふわふわ」などのこと)
- チャット GPT や Google レンズで正しい日本語をチェックすることがある。
- 日本と自分の国では文化が違うのもあるけど、母国と比べると日本は仕事場での雑談が少ない。困ったときに聞きにくい雰囲気がある…。だからこそ、わからない事は主体的に聞かなきゃと思った。
- こどもと母国語を喋っている時、他の方の目線を感じてしんどくなることがある。
- 文化が違うから自分のこどもが元気すぎて浮いていないか不安になる。外国人である自分から見ると日本人のこどもはすごくおとなしい。
- ありのままで受け入れてくれると嬉しい。
- ハーフのこどもの場合、かつ言語習得率が日本語と他言語で偏りがある場合、片親にしか相談できないケースがある。
(例：父：日本人、母：外国人の娘。日本語の取得率が高い場合、思春期の生理の悩みを母親に上手く相談できない)